【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【公開番号】特開2018-153805(P2018-153805A)
【公開日】平成30年10月4日(2018.10.4)
【年通号数】公開・登録公報2018-038
【出願番号】特願2018-46532(P2018-46532)
【国際特許分類】
Ｃ０２Ｆ　1/74　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０２Ｆ　1/74　１０１

【手続補正書】
【提出日】令和3年1月6日(2021.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７９】
触媒層の層長Ｈ４は、触媒の充填量によって決定される。触媒の充填量は、特に限定されず、目的に応じて適宜決定することができる。通常は、触媒層あたりの空間速度で０．１ｈｒ$^{-1}$～１０ｈｒ$^{-1}$、より好ましくは０．２ｈｒ$^{-1}$～５ｈｒ$^{-1}$、さらに好ましくは０．３ｈｒ$^{-1}$～３ｈｒ$^{-1}$となるように触媒の充填量を調整することが推奨される。空間速度が０．１ｈｒ$^{-1}$以上であれば、触媒の充填量を確保することができ、設備の大型化を回避することができる。また、空間速度が１０ｈｒ$^{-1}$以下であれば、反応塔内での排水の酸化・分解処理を十分に行うことができる。